

発行

# 物語



## 中学校生活最後の合唱コンクール



先月30日、中学校生活最後の合唱コンクールが行われました。どのクラスも当日の発表に向けて毎日一生懸命練習を重ねてきました。なかなか練習が進まなかったり、喧嘩したり…色々なことがあったと思いますがクラスみんなで乗り越え、本番当日、素晴らしい発表をすることができました。

合唱コンクールを終えて、感想を書いてもらいましたので紹介します。



-モナーが聞こえてくる中、1組の歌声はまだ定期テストを優先させていたため他クラスよこいたのです。気がつけば合唱コンクールまでまんでした。けれど、みんなの協力のおかげでよい歌声に仕上げることができました。その結果、深まったと思います。最後に、歌声練習に1にありがとうございました。

去年よりレベルが上がって。僕たちが最優秀賞をとれ。だと思う。どのクラスにも



優秀賞を受賞することが出来て本当によかった。当日までの練習時間が短かったため十分な練習が出来るか不安になることもありましたが、無駄にせず1人1人が一生懸命に取り組んで優秀賞をとるという目標をクラス全体で持っただと思います。このメンバーで歌うことが出来てありがとうございました。

たです。去年はやる気がありましたが、今年はみんな必死に頑張っていて賞と惜しかったですが、歌ができたと思います！



合唱コンクールも終わり、いよいよ受験が近づいてきました。勉強しなきゃいけないのはわかっているけれど…どうやって勉強したらいいの？勉強しても点数が上がらない！という声も耳にします。そこで、勉強方法の例を紹介します。

### **ポイント1★問題集やテキストは1つにしぼり、くり返す。**

問題集やテキストにあれもこれも手を出すのは、労多くして益少ないのです。大変な思いだけして、実力はなかなか上がりません。もし2冊の問題集をやる時間があれば、1冊の問題集を二度やることの方が意味が大きいのです。このくり返しの方法には、いろいろなやりかたがあります。1冊の問題集を最初から最後までやり、もう一度最初からくり返すというやりかたもあるでしょう。次に紹介するのは前の範囲で学習したことが、次の範囲の基礎となっているような科目（数学など）で有効な3・3システムという有効なくり返しの方法です。

### **ポイント2★3・3システムで記憶が定着**

1つの事柄を学んだら、その日のうちに3回くり返す。そしてその確認を3日間続けます。次の日には新しいことを学ぶので、2日目にはやる分量は2倍になります。3日目は3倍。しかし4日目にはもう最初の日のものはやりません。そんなことを続けていたら、いくら時間があっても足りないと思うかもしれません。でも、大丈夫です。1日目に30分かけて覚えたことは、2日目には10～15分で復習できます。3日目はほとんどチェックすることですから、5分もかからないでしょう。

次の図を見てください。これは「忘却曲線」といって、覚えてから時間が経つとどれくらい記憶が薄れていくかを表しています。

例えば、1日目に10個の英文を覚えたとします。2日目には、なんとこの記憶は半分以下。1週間も経てば全体の1割、1個か2個といった減り方です。

ところが、初日に10の英文を3回くり返して覚え、次の日とその次の日に全部を覚え直す作業をすると、覚えた内容の7～8割は長期間にわたって忘れません。1週間後にチェックしても1カ月後にチェックしても同じです。

大切なのは、**最初の記憶がなくなってしまう前に、もう一度くり返す**ということです。完全に忘れてしまったものを覚えるには、最初と同じだけ時間がかかりますが、まだ記憶が残っているものを復習するのは、短い時間ですみます。

3・3システムでやるだけの時間がなければ、2・2でもOK！要は同じことの「くり返し」「反復練習」が記憶の定着には有効だということです。定期テストが終わった途端に全て忘れ、いざ入試本番の時に問題が解けない！というのでは正しい覚え方とはいえません。学習計画表をつくる参考にしてみてください。